



深地層の研究施設計画検討委員会(第24回)

必須の課題成果取りまとめの評価について

2019年1月15日

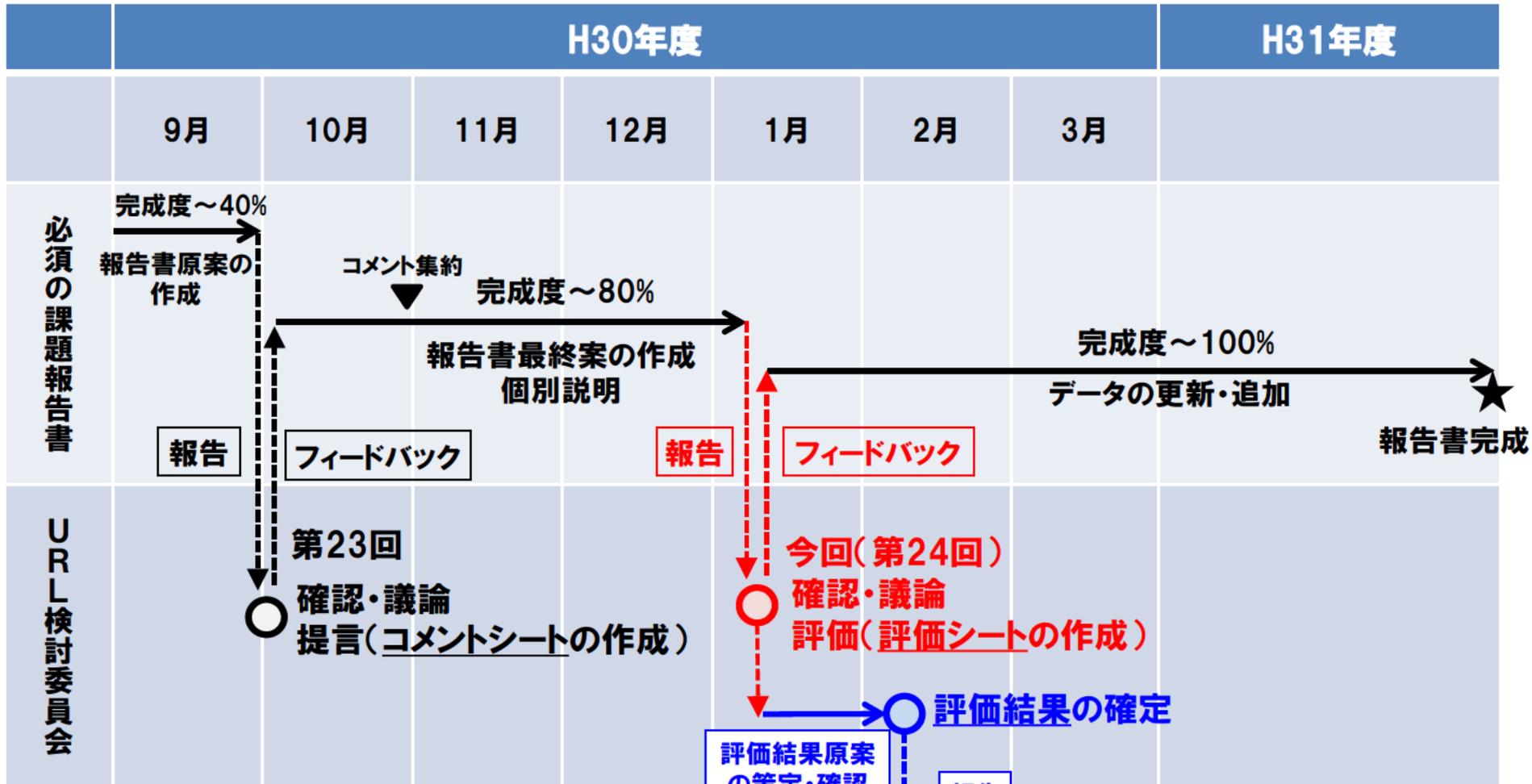
**国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料・バックエンド研究開発部門
地層処分研究開発推進部
地質環境研究統合課**

評価作業の概況

● 評価作業の具体的内容とアウトプット

	説明事項(JAEA)	審議検討事項／アウトプット(委員会)
第23回 (H30.10.1)	方針説明 取りまとめ報告書原案の説明	✓ 成果の確認・議論 ✓ 取りまとめ報告書原案への意見 ⇒コメントシートの作成
第24回 (今回)	取りまとめ報告書最終案の説明	✓ 成果の確認・議論 ✓ 取りまとめ報告書最終案の評価 ⇒ 評価シートの作成 (~H31.1.23)
第24回後 (~H31.1.)	評価シートの集約(事務局)⇒評価結果原案の作成(委員長)⇒評価結果原案の確認・修正(事務局/委員長⇔各委員)⇒ 評価結果の確定 (H31.2.15)⇒第27回地層処分研究開発評価委員会における報告 (H31.2.21)	

評価作業の全体スケジュール



第27回 地層処分研究開発・評価委員会
(H31.2.21)

今回委員会の内容について

① 瑞浪・幌延の必須の課題成果とりまとめ報告書最終案の確認

- ✓ 必須の課題成果の総括的まとめの説明
- ✓ 報告書ドラフトに対する委員コメント対応結果の報告および報告書最終案の提示

→確認、議論

② 評価シートへの記入

- ✓ 各必須の課題毎に、2つの評価項目について、4段階の指標で評価していただく(補足として欄内にコメントを記入)
- ✓ 評価の補足コメント・他のご意見については、対象欄内に記入していただく

→本委員会後もしくは1/23(水)までに事務局宛に提出

評価シートの作成について

超深地層研究所計画（瑞浪）における必須の課題成果取りまとめ
評価シート

評価者	〇〇 〇〇委員
評価日	2019年1月〇日

課題名：地下坑道における工学的対策技術の開発

<評価の項目と視点>

「研究方法の妥当性」および「目標の達成度」についての技術的な評価を行う。各項目における評価の視点は、以下のとおりである。

【研究内容の妥当性】適用した技術の適切性、取得データの質・量、結果・解釈に至るまでの論理性等

【目標の達成度】アウトプットの技術レベル、公表済み成果の質・量、科学的・技術的意義（処分事業・安全規制への貢献見込み、他分野への波及の可能性）等

<評価の結果>

評価の項目	評価指標 (いずれかに○を記載願います)	コメント
研究内容の 妥当性	1 適切であった	
	2 概ね適切であった	
	3 やや適切でなかった	
	4 適切でなかった	
目標の 達成度	1 十分に目標が達成できた	
	2 概ね目標が達成できた	
	3 あまり目標が達成できなかった	
	4 ほとんど目標が達成できなかった	

その他、ご意見等ございましたら、ご記入願います。

※評価にあたっては、<評価の結果>の評価指標欄のいずれかに○を付けていただき、その補足としてコメントをご記入願います。また、必要に応じて「その他ご意見等」の欄にご記入願います。

1. 必須の課題毎に記入

2. 評価項目

- ✓ 研究内容の妥当性
- ✓ 目標の達成度

3. 評価指標

- ✓ **4段階**:該当する箇所に丸付け
- ✓ **コメント欄に評価結果の補足事項(具体的な所感・意見等)を記入**

4. その他、ご意見等

- ✓ **上記評価結果以外の関連事項(改善に向けた提案、今後の研究開発に期待すること等)を記入**

※ ご提出は、紙・電子ファイルのどちらの様式でも結構です。

※ ご提出は、**本委員会終了後**もしくは後日、事務局宛(**1/23(水)締切**)をお願いいたします。

評価の視点について

<p>研究内容の 妥当性</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 国内外の先行事例などを参考に適切な技術や知見が導入されているか➤ 適切な質・量のデータが取得されているか➤ 結果や考察の導出に際して矛盾や飛躍はないか …等
<p>目標の 達成度</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 目標に対する成果は、科学的・技術的な観点から適切なレベルに達しているか➤ 報告書や国内外の学会、論文等を通じて、適切に成果が発表されているか➤ 地層処分の事業や安全規制にとって、新規性・有用性のある成果が得られているか➤ 他分野にも波及効果のある成果が得られているか …等

評価結果の策定について(事務局集約／委員長取りまとめ)

2019年〇月〇日
 深地層の研究施設設計画検討委員会
 委員長 西垣 誠

超深地層研究所計画(瑞浪)における必須の課題成果取りまとめ評価結果①
 課題名: 地下坑道における工学的対策技術の開発

【総括評価】

研究内容の妥当性については、〇〇〇～

～〇〇〇と評価する。

目標の達成度については、〇〇〇～

～〇〇〇と評価する。

今後は、〇〇〇～

～〇〇〇を期待する。

【評価指標別評価結果】

研究内容 の妥当性	1 適切であった	(各指標毎の結果人数を★印で表示)
	2 概ね適切であった	
	3 やや適切でなかった	
	4 適切でなかった	
目標の 達成度	1 十分に目標が達成できた	(各指標毎の結果人数を★印で表示)
	2 概ね目標が達成できた	
	3 あまり目標が達成できなかった	
	4 ほとんど目標が達成できなかった	

最も人数の多かった結果を○で表示

【委員からのご意見等】

(評価シートに記入頂いた各委員の評価結果の補足および関連事項(提案・期待)を記載)

1. 各委員の評価結果集約(～1/28)

2. 評価結果原案の策定(～2/1)

【総括評価】

各委員からの評価結果に基づき、研究内容の妥当性、目標の達成度、今後の期待について取りまとめ

【評価指標別結果】

各委員からの評価結果に基づき、研究内容の妥当性、目標の達成度の結果人数と最多評価結果を集計

【委員からの意見等】

各委員からの評価結果の補足および関連事項(提案・期待)を記載

3. 評価結果原案の委員確認(2/1～6)

4. 評価結果の確定(2/15)

5. 地層処分研究開発評価委員会での評価結果(事務局)および総括(委員長)の報告(2/22)

6. 公開HPへの掲載

評価結果確定までのスケジュール

